

社会福祉法人スマイルワーク

令和元年度事業報告書

I 法人関係

本年度の事業計画に基づき、利用者、保護者の協力の下、関係機関との連携を深めながら各種事業を推進した。

1. 生活介護事業所開設に向けた調査研究

新規事業の導入による経営基盤の安定化及び提供可能なサービスの拡充等を図るため、通所型の生活介護施設の開所運営に向けた検討の参考資料を得る目的で令和元年11月13日（水）から11月21日（木）に生活介護に関するアンケート調査を全保護者に依頼し、利用希望の有無や意見等を集約した。調査結果を理事会、保護者役員会で報告した。

2. 地域における広域的な取り組み

社会福祉法第24条2項に基づく「地域における公益的な取組」について原則隔月の10日に実施した。

実施期日	時間	内容	参加者
令和元年5月10日（金）	午前7時から午前7時30分	施設周辺の空き缶、ゴミ拾い等の清掃活動	職員 8名
令和元年7月10日（水）			職員 9名
令和元年9月10日（火）			職員 10名
令和元年11月8日（金）			職員 9名
令和2年1月10日（金）			職員 10名

3. 役員会等の開催

(1) 役員会

会議名	開催月日	場所	出席者数	
			理事	監事
第1回理事会	平成31年 5月15日	はまなす館 第1会議室	6	2
委嘱状交付式	令和元年	はまなす館	6	2

	6月5日	第1会議室		
第2回理事会	令和元年 6月5日	はまなす館 第1会議室	6	2
第3回理事会	令和元年 9月12日	はまなす館 第1会議室	6	1
第4回理事会	令和元年 12月5日	はまなす館 第1会議室	4	1
第5回理事会	令和2年 1月30日	はまなす館 第1会議室	6	2
第6回理事会	令和2年 3月5日	はまなす館 第1会議室	6	1

(2) 評議員会

会議名	開催月日	場所	出席者数		
			評議員	監事	理事
第1回評議員会	令和元年 6月5日	はまなす館 第1会議室	5	1	2
第2回評議員会	令和元年 10月3日	はまなす館 第1会議室	5	2	2
第3回評議員会	令和元年 12月24日	はまなす館 第1会議室	4	1	2
第4回評議員会	令和2年 3月23日	はまなす館 第1会議室	6	2	2

(3) 苦情解決第三者委員会

会議名	開催月日	場 所	出席者数	
			委員	理事
第1回苦情解決 第三者委員会	令和元年 9月24日	スマイルセン ター会議室	4	2
委託交付式 (欠員補充)	令和2年 3月21日	スマイルセン ター会議室	3	2
第2回苦情解決 第三者委員会	令和2年 3月21日	スマイルセン ター会議室	3	2

(4) 評議員選任解任委員会

会議名	開催月日	場 所	出席者数	
			委員	理事
委託交付式	令和2年 3月17日	スマイルセンター会議室	4	2

4. 人権擁護・虐待防止に向けた取組

(1) 虐待防止チェックリストの活用

毎月、個々の職員の対応を自己チェックしたものを係が集約し、改善に向けて職員会議で問題の分析と今後の対策について協議した。

(2) スマイルボックスの活用

スマイルボックスを活用した利用者からの苦情や要望を迅速に解決できるようにするため、苦情解決第三者委員会の助言を受け投函の有無を確認する回数を月1回から週3回に増やした。

また、利用者が記載しやすいように記入用紙をイラスト化した。活用の方法については、利用者全員に月1回終礼時に説明を行っている。

5. 事業等の評価の実施

(1) 内部評価

次年度の運営改善に向けて、自己点検チェックリストの活用や作業支援、係業務の反省等を行い成果や課題、改善事項を洗い出し計画に反映させるようにした。

(2) 施設利用満足度調査

利用者や保護者によるアンケートを通し、事業やサービス提供について評価する機会を設けた。結果について、苦情解決第三者委員会に提出するとともに、保護者にお知らせした。

① 実施期間 令和2年1月17日から1月24日

② 評価内容12項目

- 施設に関する情報提供 ○サービスの提供・利用者への支援
- 費用や契約の説明 ○個別支援計画書について本人・家族の意向の反映
- 施設の衛生面 ○病気やけがへの対応 ○施設の安全・事故防止対策
- 利用者への人権尊重 ○苦情や要望を聞く体制
- プライバシーの保護 ○工賃の説明 ○行事の在り方

③ 評価基準 4段階

6. 広報誌の発行

保護者や関係者に法人や事業所の情報を積極的に発信し、現状の理解と情報の共有化を図り、一層の協力体制の構築に努めた。

(1) 広報誌

- 発刊日 9月6日(第3号) 3月6日(第4号)
- 発行部数 各300部
- 配布先 保護者、法人役員、評議員、各種委員会委員、協力企業、行政機関等関係者

(2) ミニ広報誌

- 5月号 5月10日発刊 11月号 11月29日発刊
- 発行部数 各100部
- 配布先 保護者

7. 台風による被害状況

(1) 台風19号による被害概要

- ① 利用者の住宅被害
床上・床下浸水 4件 家屋一部破損 1件
- ② 避難家族 2件
- ③ 事業所関係 フレンズの女子更衣室の雨の吹きかけによる湿潤
- ④ 事業所の運営
通水管破損のため完全断水。10月15日を休園とし飲料水等の確保を行う。16日、17日、18日の3日間を午前中のみ営業とする。
21日から通常営業が可能となる。

(2) 温帯低気圧・台風21号による被害概要

- ① 利用者の住宅被害
床下浸水 2件
- ② 避難家族 1件
- ③ 事業所関係
スマイルセンター敷地内に小泉川の越水により多量の土砂が流入し、翌10月26日(土)全職員で撤去作業を行う。浸水したホンダステップワゴン車を廃車とした。

Ⅱ 就労支援事業所スマイルセンター・フレンズ関係

1. 就労支援の状況

利用者の特性、技能等を踏まえた作業班を編成し、個人に応じた作業工程、作業方法を工夫しながら作業意欲・知識・技能の向上を図るための支援に努めた。企業による受注状況が悪化する中、スマイルセンター・フレンズの作業の一体化を図り、実習等をとおして利用者一人一人の適性を把握し作業種の選択と配置換えを行った。

また、毎月の作業会議で、利用者の取り組み状況や発注・納品・収益の現状と課題、今後の見通し等について確認及び協議を行い、安定的な収益の確保を目指すとともに効果的な支援ができるようにした。

(1) 業務種類及び内容

年度末の段階で、はまなす館清掃、光峯電気、アルプス物流、サンエイ海苔、東部ダンボール、シンコー、協和製作所、ボールペン佐藤、福島ニチアス、ひかり給食（工業用ブラシ結線作業）の作業、自主作業として廃品回収を行っているが、貿易摩擦と新型コロナウイルス感染の拡大もあり作業の受注が厳しい状況にある。年度途中において、ひかり給食食器洗浄が企業の事情で廃止となり、大成、シンコーについては撤退することとした。

一方、企業内作業の実習の実施、新たな自主作業として藍染、草木染の導入のための研修も進めてきた。

(2) 業務種類及び内容

令和元年度の作業内容は以下の通りである。

業務種類	内容
1. 受託・請負作業	・相馬市総合福祉センターはまなす館清掃 ・海苔のし加工
2. 製造・加工作業	・段ボール組み立て等 ・シート加工 ・シート検品 ・自動車部品治具の箱入れ、ゲートカット ・ボールペン、シャープペンの組み立て ・エアーキャップカット ・端子盤ネジ締め ・防塵マスク空気弁ゴムシート並べ ・その他（正月飾りヘッダー付け）

3. 廃品回収作業	・ 段ボール、空き缶等の回収・仕分け
4. 企業内作業	・ 給食食器類の洗浄作業 ・ 段ボール仕切詰め、組み立て ・ 歯科矯正金具検査 ・ 工業用ブラシ結線作業

(3) 企業ごと事業収入の実績

区 分	収 入 金 額 (円)
1. 受託・請負作業	4,796,305
(1) 相馬市総合福祉センターはまなす館清掃	4,363,757
(2) サンエイ海苔株式会社	432,548
2. 製造・加工作業	1,772,948
(1) 有限会社東部ダンボール工業	722,684
(2) シンコー有限会社	328,876
(3) 協和製作所	82,966
(4) ボールペンサトー	339,680
(5) 福島ニチアス	207,974
(6) 大成	7,680
(7) 米本商店・渡邊工業	83,088
3. 廃品回収作業	2,159,496
4. 企業内作業	375,720
(1) ヒカリ給食	230,820
(2) 光峯電機	144,900
合 計	9,104,469

(4) 平成29年度から令和元年度実績 単位：円

	29年度	30年度	元年度
合 計	9,916,799	10,406,788	9,104,469

(5) 工賃支払実績（月額）

1人あたり平均 14,454円（平成31年度目標金額13,300円）

2. 生活及び作業支援について

自立的な生活態度や習慣を育成するため、年2回の個別支援計画の作成を行い、計画に基づいて支援を行った。

(1) 個別支援計画の作成・見直し

① モニタリングの実施

目標の達成状況の評価、目標に対する充足度、達成されない場合の原因の分析を行い、今後の支援内容を検討した。また、本人へ今までの支援経過について説明をするとともに、今後の目標について話し合った。

② 個別面談の実施

本人と家族が同席のうえ、現在までの支援内容、経過を説明し本人、家族から要望などを聞き取り計画作成に生かした。

③ 個別支援計画会議の開催

モニタリング及び個別面談の結果を踏まえ後期の個人の目標・支援等について協議・決定した。

(2) 相談支援

利用者との個別面談を重視し、希望や悩みを適切に受け止め、迅速な対応に努めた。

(3) 作業支援

一人一人の作業への意欲を高め、達成感を味わわせるため、適切な目標設定、支援の具体化、補助具等の作製等に力を入れた。

(4) 日常生活の基本的行動の定着への支援

言葉遣い、挨拶、手洗い、服薬、対人関係等で課題を抱えている利用者に対して、担当職員を中心に、継続した支援に努めた。

3. 健康・衛生管理について

(1) 感染症予防のため作業終了後や食事前の手洗い、うがいの呼びかけを

日常的に行うとともに、利用者が使用するコップ類の洗浄消毒、ドアノブやテーブル等の消毒等を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、送迎車両利用時の検温の確認、作業時、食事時等の向かい合わない配席等を行っている。

(2) 4月に早川医院において健康診断を実施し、自己の健康管理についての支援を行った。

(3) 11月に早川医院においてインフルエンザの予防接種を実施した。

(4) 服薬で支援を要する利用者については、薬の管理、服薬時の支援を行った。

4. 事故防止について

毎月、施設全体の設備等の安全点検及び防災教室、定期の防災・避難訓練を行い利用者の安全確保に務めた。

(1) 地震及び火災、水害等を想定した防災・避難訓練、

○ スマイルセンター

6月19日(水)、12月19日(水)に相馬消防署員招聘による訓練を実施

○ フレンズ

7月22日(月)、令和2年1月30日(木)に相馬消防署員招聘による訓練を実施

○ スマイルセンター・フレンズ合同

10月9日(水)に水害を想定した避難訓練を実施

○ 「シェイクアウトふくしま」への参加

8月30日(金)に地震が発生した時、自身を守るために真っ先に行うべき安全確保行動「(1)まず低く、(2)頭を守り、(3)動かない」という基本的な安全確保行動が取れるように、県下一斉安全確保行動訓練「シェイクアウトふくしま」に参加した。

(2) 毎月の防災教室

安全への意識向上を図り危険回避行動がとれるようにすることを目的に毎月初めに実施した。

月	内 容	スマイルセンター		フレンズ	
		実施月日	担当者	実施月日	担当者
4	施設での過ごし方(1) ・作業中の注意事項、衛生、 ・健康管理、生活上の注意事項等、	4月10日	西村	4月10日	管野
5	春の交通安全 ・歩行時や自転の安全な利用	5月15日	窪田	5月15日	渡辺
6	地震について ・地震発生時の身の守り方	6月12日	西村	6月12日	飯土井
7	夏の過ごし方 ・夏バテとその防止策 ・水分補給の大切さ	7月17日	太田	7月10日	渡辺
8	雷について	8月7日	吉田恵	8月7日	渡辺

	・雷鳴時の危険性の認知、退避方法				
10	秋の交通安全 ・自転車の安全な乗り方 ・信号機の見方、横断の仕方	10月2日	齋藤	11月13日	渡辺
11	洪水から身を守る ・河川の増水時の注意点 ・避難場所の確認	11月13日	太田	11月13日	管野
12	冬の過ごし方 ・風邪、インフルエンザの予防	12月4日	吉田恵	12月4日	飯土井
1	雪道の安全 ・降雪時の危険 ・安全な歩き方	1月15日	齋藤	1月8日	渡辺
2	・施設での過ごし方(2) ・作業時の約束	2月5日	西村	2月5日	飯土井
3	今年度を振り返って ・今年度反省と次年度に向けて	3月4日	太田	4月21日	管野

(3) 洪水時の避難確保計画の作成

「水防法等の一部を改正する法律（平成29年法律第31号）」の施行により、要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るために『土砂災害防止法』が平成29年6月19日に改正された。改正を踏まえ、小泉川氾濫を想定した避難計画を作成した。

5. 行事

(1) 年間行事

事業所での生活に潤いと変化、利用者間及び職員との交流を図るため、以下の行事を実施した。

①社会見学研修

(ア) 目的

日頃見る事のない海洋生物たちを間近で見学しイルカのパフォーマンスを楽しみ貴重な思い出づくりをする。

- (イ) 実施日 令和元年7月6日(土)
- (ウ) 参加者数 50名(利用者・職員)
- (エ) 訪問施設
 - ア 仙台うみの杜水族館
 - イ 武田の笹かまぼこ
- (オ) 成果・反省
 - ア 水族館見学や食事、買い物は利用者にとって十分に楽しむことができた内容であった。
 - イ 活動をとおしてスマイルセンターとフレンズの利用者間の交流が深められ楽しい思い出とともに信頼関係を深めることができた。

②パークゴルフ中止による代替え活動

令和元年10月8日(火)、相馬光陽パークゴルフ場で実施予定であったが、前日の雨でグランドコンディションが悪いため、はまなす館大ホールで代替えの活動を行った。

- (ア) 実施内容 ボッチャ よさこい
- (イ) 参加者数 49名
- (ウ) 成果等
パークゴルフを実施できなかったことは残念であったが、交流を深めながらゲームやよさこいを十分に楽しんでいた。

③ハロウィンパーティ

- (ア) 目的
ハロウィン行事をとおして、秋の収穫の喜びと季節行事を体験し、楽しい思い出と仲間の親睦を深め明日への活力へつなげてもらう。
- (イ) 日時 令和元年10月30日(水)
- (イ) 参加者数 53名
- (ウ) 内容
 - ハロウィンランチパーティ
 - プレゼント
- (エ) 成果等
メニュー、プレゼントとも充実していて利用者の反応が大変良かった。良い思い出づくりとなった。

④クリスマス会

- (ア) 目的
利用者間の交流と親睦を深めるとともに公共の場での食事マナー等の習慣を身につける。

(イ) 日時 令和元年12月11日(水)

(ウ) 場所 音屋ホール

(エ) 参加者 利用者41名 職員11名

(オ) 内容

会食 お楽しみ抽選会(プレゼント) カラオケ大会 職員の演奏

(カ) 利用者の感想

「とても楽しかった。」、「来年もやりたい。」、「料理がおいしかった。」などの感想が多数。

(キ) 反省・改善事項

- ・ 今回は会場が空いていなかったため早い開催になったが、時期をもう少し遅らせてクリスマスに近い日程で開催したい。
- ・ 食事はボリュームを重視した為、揚げ物、肉料理に偏ってしまった。
- ・ 会場が空いていない場合は、曜日にとらわれずクリスマスに近い日程で計画をする。
- ・ 食べ過ぎてしまった利用者もいたので、オードブルではなく一人一人のワンプレート的な料理にする事ができないか検討したい。

(2) 定例行事

①スポーツ&レクリエーション

利用者一人一人の健康の維持、増進と利用者間の交流を図るため、大きな行事がない月の下旬に1時間程度、利用者全員が参加して、はまなす館ホールで体操やゲーム等を行った。

月 日	内 容	担当者	利用者参加人数(人)
4月24日(水)	フライングディスク	渡辺 西村	39
5月29日(木)	フライングディスク	飯土井 太田	37
6月26日(水)	よさこい	管野 吉田恵	40
8月28日(水)	ポッチャ	加藤 渡辺	38
9月25日(水)	フライングディスク	西村 飯土井	38
11月27日(水)	ボーリング	管野 太田	41
1月29日(水)	ポッチャ	加藤 吉田恵	39

②スマイル会

(ア) 目的

誕生日のお祝いをとおして、利用者同士の親交を深め合い、互いに思いやりと敬う心をもち喜びを感じてもらう。

(イ) 内容

誕生日の利用者に、帰りの会で行事担当職員から誕生祝カードを贈る。

(ウ) 方法

毎月15日をめどに終礼時、該当者にメッセージと写真入れのカードを贈る。

6. 職員の資質向上

先進地の視察研修、各種研修及び会議等への参加、施設内研修等を通して職員の資質の向上に努めた。

(1) 県内外における各種研修会等への参加状況

開催月日	会議名	場所	参加者
4月17日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	菅野
4月23日	社会福祉法人制度改革事務 担当者フォローアップセミナー	TKD ガーデンシテ ィ仙台	施設長
5月15日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	菅野
5月30日	社会福祉法人等代表者会議	ユラックス熱海	吉田
6月12日	市自立支援協議会就労部会	はまなす館	菅野
6月20日	安全運転管理者講習会	わくわくランド	吉田
6月26日	相馬市自立支援協議会	相馬市役所	施設長
6月25日	障害福祉サービス業者等集 団指導	とうほう・みんな の文化センター	齋藤
7月 3日	社会福祉法人経営者協議会	ビックパレット福 島	施設長
7月 4日～ 5日	防火管理講習会	鹿島農業環境改善 センター	菅野

7月10日～ 12日	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 初任者研修	県総合社会福祉セ ンター	太田
7月10日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	管野
7月24日～ 26日	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 初任者研修	県総合社会福祉セ ンター	吉田恵
8月21日～ 23日	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 初任者研修	県総合社会福祉セ ンター	斉藤
9月5日	第8回全国生産活動就労支 援部会職員研修会	TKP ガーデン	施設長、 吉田雄、齋 藤、吉田恵
9月11日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	管野
10月4日	苦情受付担当者研修会	ユラックス熱海	吉田恵 管野
10月9日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	管野
10月10日	経営意識向上研修会①	県農業総合センタ ー	吉田
10月16日	県障害者相談支援従事者養 成研修	郡山市福祉センタ ー	齋藤
10月21日	セルフコーチング	ビックパレット	西村
10月24日	経営意識向上研修会①	県農業総合センタ ー	吉田
10月29日	新任者初任者研修	スマイルセンター	齋藤 吉田 恵 太田
11月 5日	整備管理者等研修会	ウィル福島	加藤
11月 6日	障害者先進地視察研修	社会福祉法人共生 福祉会・仙萩の杜	吉田
11月13日	市自立支援協議会就労部会	はまなす館	管野

11月14日	工賃向上研修会①	県農業総合センター	管野
12月3日	県障害者虐待防止・権利擁護研修会	とうほうみんなの文化センター	吉田恵
12月18日	意思決定支援につなげるための記録の取り方	福島県社会福祉協議会	齋藤
11月13日	市自立支援協議会就労部会	はまなす館	管野
11月14日	工賃向上研修会①	県農業総合センター	管野
12月3日	県障害者虐待防止・権利擁護研修会	とうほうみんなの文化センター	吉田恵
12月18日	意思決定支援につなげるための記録の取り方	福島県社会福祉協議会	齋藤
1月16日	工賃工場研修会	郡山農業総合センター	管野
2月13日	知的障害者福祉協会合同研修会	スパリゾートハワイアンズ	加藤
2月17日	権利擁護ホットネット協力員養成講座	はまなす館	吉田

(2) 外部講師招聘による施設内研修

- ① 日時 令和元年9月18日(水) 午後2時～
- ② 場所 スマイルセンター食堂
- ③ 講話 「知的障害者支援の在り方」
- ④ 講師 古川 敬 様
福島県知的障害者福祉協会会長
社会福祉法人育成会理事・本部事務局長

(3) 新採職員研修会

- ① 日時 令和元年10月29日(火) 午後4時～
- ② 場所 スマイルセンター会議室
- ③ 講話 新任職員に期待すること等
- ④ 講師 理事長

(4) 伝達講習会

年間6回、15講座の伝達講習を実施した。

(5) 自主研修等

- ①セコム AED 講習会 12月11日(水) スマイルセンター
第1作業室 講師1名 職員11名参加

- ②救命救急講習会 1月22日(水) 13時30分～15時30分
相馬消防署 職員10名参加
- ③藍染研修 1月24日、12月21日、1月25日
スマイルセンター 講師2名
職員22名(延べ)参加

7. 地域交流

(1) ボランティア受け入れ (延べ人数)

- ① お菓子作り 10名(実数2名)
- ② 生け花 35名(実数1名)
- ③ 作業 69名(実数3名)
○保護者11名
○一般 58名
- ④ 補導委託 2名

(2) 協力行事(希望者)

教室名	開催期日	参加者
ポッチャ	7月28日(日)	利用者4名 保護者4名
ニューエイジカーリング	9月22日(日)	利用者3名 保護者3名
フライングディスク	12月1日(日)	利用者2名 保護者2
吹き矢	12月22日(日)	利用者3名 保護者3名
ポッチャ教室	1月12(日)	利用車4 保護者4名

8. 参観見学及び研修等受け入れ

(1) 参観見学

- 一般 4名
- 相馬支援学校高等部 6名(生徒4名 職員2名)
- 相馬支援学校中学部
スマイルセンター 21名(生徒14名 職員7名)
フレンズ 20名(生徒15名 職員5名)

(2) 学校教員研修

○相馬市小中学校初任者研修 教員6名(小学校)

9. 実習生の受け入れ

(1) 産業現場等における実習

相馬支援学校高等部

前期 3年生1名(2週間)

後期 1年生2名 2年生1名 スマイルセンター・フレンズ
各1名(2週間)

(2) 産業現場等における実習

相馬支援学校中学部 3年生2名(4日間)

(3) 福祉体験実習 相馬市立一中学校 2年生6名(2日間)

10. 保護者との連帯

(1) 作業参観の実施

保護者による作業参観をとおして、作業内容や作業への取り組み状況、利用者への支援の方針・支援方法等について理解してもらうことを主な目的として年2回実施した。

① 実施期日

第1回作業参観 令和元年6月17日(月)

第2回作業参観 令和2年1月23日(木)

② 参加者数

第1回作業参観 11名

第2回作業参観 7名

③ 参観形態

参観及びシャープペンの組立、取扱説明書折り、段ボールの組み立て海苔のし等、利用者が日常的に行っている作業の体験

④ 日程

○参観及び作業体験 50分

○説明及び懇談・アンケート記入 30分

(2) 保護者懇談会の開催

サービス等に関わる要望等を聴取し運営に生かすため保護者役員との懇談を行った。

- ① 開催日時 令和元年12月12日(木)午後6時から
 ② 出席者 保護者会役員 7名 理事長 施設長 主任生活支援員

(3) 総会、役員会等への参加

総会や奉仕作業等に全職員が参加した。また、役員会には理事長、施設長、担当者が毎回出席し、保護者会の活動へのアドバイスや要望の聴取を行うなど、協力体制を強化した。

月 日 (曜)	内 容 等
4月 4日 (木)	第1回保護者会役員会 総会準備について
4月20日 (土)	保護者会総会
5月21日 (火)	第2回保護者会役員会 奉仕作業等について
6月17日 (月)	第1回保護者会奉仕作業 保護者12名 職員11名
9月 7日 (土)	第2回保護者会奉仕作業 保護者21名 職員10名
10月 1日 (火)	第3回保護者会役員会 、進施設視察 そうま市民まつりについて
10月26日 (土)	新送迎計画説明会参加
11月 7日 (木)	第4回保護者会役員会 生活介護のアンケート、進施設視察について
11月11日 (月)	先進施設視察研修 社会福祉法人育成会 いわき学園、いわき光成園、 ライフサポートゆうゆう 参加者 保護者7名 職員4名
12月12日 (火)	施設側主催の懇談会に参加 7名
2月13日 (木) ~ 14日 (金)	福島県知的障がい者福祉協会合同研修会 スパリゾートハワイアンズ 3名
3月16日 (月)	第5回役員会 ・令和元年度事業経過報告、反省について ・総会に向けて